

目次

イントロダクション

- 1 理念体系
- 2 亀田製菓のグローバルネットワーク／At a Glance

価値創造ストーリー

- 4 価値創造のあゆみ
- 6 会長 CEOメッセージ
- 10 社長 COOメッセージ
- 14 シニアチェアマンメッセージ
- 16 価値創造プロセス
- 17 価値創造を実現する仕組み
- 18 マテリアリティ（重要課題）の特定
- 20 サプライチェーンの持続可能性を追求
- 21 [特集] お米総合研究所が広げるお米の可能性

戦略解説

- 22 財務ハイライト
- 23 非財務ハイライト
- 24 CFOメッセージ
- 26 中期経営計画
- 27 事業戦略
- 28 国内米菓事業
- 30 海外事業
- 32 食品事業

亀田製菓のサステナビリティ

- 34 サステナビリティ推進
- 35 環境
- 37 社会
- 38 ダイバーシティ担当役員メッセージ

ガバナンス

- 42 役員一覧
- 44 社外取締役鼎談
- 48 コーポレートガバナンス
- 53 コンプライアンス
- 54 リスクマネジメント

データセクション

- 56 11カ年の財務・非財務ハイライト
- 57 株主・投資家情報

会社情報

編集方針

亀田製菓グループでは、2021年度より「統合報告書」を発行しています。本報告書は、当グループのビジネスモデルや目指すべき姿、価値創造に向けた取り組みについて、ステークホルダーの皆様によりわかりやすくお伝えすることで、よりよいコミュニケーションを創出し、さらなる価値創造につなげることを目的としています。制作にあたっては、IFRS財団の「国際統合報告フレームワーク」および経済産業省「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス」を参考にしました。

※本報告書における表示単位未満の端数については、金額および所有株式数は切り捨て、各種比率は四捨五入にて表示しています。

“Better For You”

世界に飛び出し、「グローバル・フード・カンパニー」となること。

これが亀田製菓グループが掲げる大きな目標です。

その実現に向けて、私たちがお客様に提供する価値、

それは“美味しく からだに良いものを選び、食べ、楽しむ、健やかなライフスタイルへの貢献”です。

2030年度の夢は、こうしたお客様価値の提供を通じて、

“あられ、おせんべいの製菓業”から“Better For You の食品業”へと進化することです。

報告対象範囲

亀田製菓株式会社および連結子会社

報告対象期間：2021年4月1日～2022年3月31日

※一部、対象期間以前・以後の情報も含んでいます。

<将来見通しに関する注意事項>

本報告書における業績予測などの将来に関する記述は、制作時点で入手可能な情報にもとづき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性その他の要因が内包されています。したがって、さまざまな要因の変化により、実際の業績は、見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

理念体系

創業の心

戦後間もない食糧難の時代に「男性はどぶろくで気晴らしが出来が、女性や子供には楽しみといえるものがない。なにか生活に喜びと潤いを届けたい」という思いから未経験の水飴づくりに挑戦しました。それが創業の心となり、亀田製菓は生まれました。

社是

製菓展道立己（せいかてんどうりっき）

菓子の製造販売を業として、その道を展く、即ち製造技術、商品開発、市場開拓を始め経営諸般の研鑽に努め伸展をはかることで己を立てる。己とは会社そのものであり、会社を構成する社員個々であります。共に、社会的、経済的地位を向上させようとするのであります。

経営理念

1. 会社まつわるすべての者の要望に応える
1. 会社の永劫の存続をはかる

経営基本方針

1. 民主経営で行く
1. 会社を私物化しない
1. 計画経営に徹する

果たすべき使命

MISSION

- ・ 私たちは、自然の恵みを活かし、「健康」「おいしさ」「感動」を創造します
- ・ 私たちは、世界の人々の生活に喜びと潤いをお届けし、より豊かな社会に貢献します

具 体 像

VISION

米菓で培った伝統の技を革新し、各地の食文化と調和することを通じて、世界の人々に愛されるブランドを目指します



亀田町農産加工農業協同組合時代の事務所
亀田製菓はここから始まりました

亀田製菓のグローバルネットワーク／At a Glance

亀田製菓は、創業から75年以上の歴史を通じ、日本国内で米菓のリーディングカンパニーの地位を確立するとともに、世界中のお客様に喜びと潤いをお届けするためのグローバルネットワークを築いてきました。

また、「グローバル・フード・カンパニー」の実現に向け、米菓にとどまらない食品事業領域への展開も進めています。

At a Glance

(2022年3月31日現在)

連結従業員数

3,776 名

連結売上高

85,163 百万円

連結営業利益

4,832 百万円

セグメント別売上高

国内米菓事業 62,971 百万円

海外事業 9,183 百万円

食品事業 6,309 百万円

海外のネットワーク



アメリカ

TH FOODS, INC.

1989年に資本業務提携。低カロリー・低脂肪・低アレルギーのライスクラッカーを製造販売しています。



アメリカ

Mary's Gone Crackers, Inc.

2012年にグループ会社化。オーガニック・グルテンフリー・ヴィーガンなどの付加価値の高いクラッカーを製造販売しています。



アメリカ

KAMEDA USA, INC.

2008年に設立。北米向けクロスボーダー取引の販売会社としての役割を担っています。



インド

Daawat KAMEDA (India) Private Limited

2017年にジョイントベンチャーとして設立。インド国内に向け、インド版亀田の柿の種『KARIKARI』の製造販売を行っています。



タイ

Singha Kameda (Thailand) Co., Ltd.

2020年にジョイントベンチャーとして設立。豪州や北米、日本など、世界に向けたクロスボーダー取引拠点として、米菓の製造販売を行っています。



カンボジア

LYLY KAMEDA CO., LTD.

2018年にジョイントベンチャーとして設立。PepsiCo ANZ Holdings Pty Ltd. のグループ会社向けに米菓のOEM供給を行っています。

国内のネットワーク

